

# 東北日日新聞

刊休無中  
日九廿月二年五和昭  
日九廿月二年五和昭

## 第三區の政戦は 縣下唯一のドリケート戦

### 政友佐藤候補安外弱く 其他の候補は勢力伯仲

中立候補の亂立を免れ比較的沈黙を守つてゐた第三區の三郡も期日よ／＼切迫したので數日來俄然雲行を變し民政の比佐、氏家、友政の木村、佐藤の四候補入亂れ、猛運動を開始するに至つた目下の形勢を見れば民政の比佐氏友政の木村氏何れも石城方面に地盤擁護に力をあげてゐるが前回の敗辱を雪ぐべく出馬した民政の氏家は最初から物凄く

## 期日切迫と共に 木村候補苦戦

### 同志や民政候補に 地盤をおびやかされて

勢ひで、突進時恰も石城部會における若松、野崎兩氏の争ひが表面化し同部會分裂の形になつて來たの直に野崎氏と提携し比佐氏の本城たる石城部に侵入したので比佐候補側も狼狽し氏家候補はの侵入防止と地盤擁護に全力をあげてゐる形勢で一方政友の佐藤候補は石城郡出身であり殊に立不利をばん回するに

## 比佐候補應援に 小針夫人の熱聲

### 好樂座を第一聲に 白熱的共鳴を博す

各地に於て他候補を壓倒しの舌戦に馳せ参じた同氏夫のう／＼と言論戦をなした人信子氏は昨十一日午後五つある民政黨比佐派では先時好間村好樂座を第一聲に日より金井某嬢をよんで熱辯を振つて今期言論戦のさみ切つた事務所整理の任人氣を一点に集め聴衆はそにあたらしめさるる能率の聲はうに風びされ一人のを上げて居るが又今同比佐氏ヤジを入る者もなく白熱的向窓の友信夫郡信夫村小針共鳴を博した六郎氏の代理として同候補は

## 早くも實彈戦が 開始された模様

### 候補者以上の苦闘を つゞける取締警宣

総選挙も後旬日に迫り第三熱化し平、植田、四倉など區の各候補は勝たねばなる各警察署に内勤非番までらぬ信念の下に懸命に死力から出して演説會場取締に盡して戦ひ文字通りの激闘つておるが手不足を感じ戦を描いて居る殊に激戦地である古舞をしておる夫れ石城郡は十日は演説も一に選挙に付きもの、買収な寸一休みの形であつたが十日も非行はれておるとい一日から再び四人の候補は者も投票などが各署にあるたが入り亂れて郡内各地に舌め取締の署員等は候補者以上戦を開始したので選挙は白上の悪戦苦闘を續けておる

## 町内を練つて 各団体の五百人

### 昨日子ぐわ倉神社に 行はれた第五回建國祭

町内に於ける第五回建國祭を合圖に在郷軍人、青年團は紀元節の佳日十一日を下青年訓練所生二百人それに午前五時半に花火、警備男女學生三百人の人々は元

商業學校々庭に集合し六時三十分町長引卒の下の出券田町、大工町、本町、紺屋町を練り縣社千歳神社に参拜をなし修技の式があり一同君が代を合唱し町長の式辞があり山野邊神官は建國祭に關する講演をなして後宮城に向つて天皇陛下万歳の三唱午前八時町長の閉式の辭あつて會散したが市中を練り廻つた行列は長蛇の如く長々と見事な行列であつた

## 窃盜捕はる

### 目下嚴重取締中 原籍山形市六日町一四五八高橋徳松(五八)は十日午前十時頃石城郡好間村堰下大竹松之助方より金側時計價格二十圓を窃取した事發覺して十一日平署に檢舉餘罪ある見込で目下嚴重取締中

## 女房問搜索願

### 石城郡小名濱町國井清内縁の妻谷口ミチ(二八)は結婚後十日餘りにして去る六日無斷家出したがミチは平町に潜伏しておるらしい、國井は十日平署に捜練方願出

## 選挙ユーモア

### 比佐候補の選挙事務所平町民政黨俱樂部に萩原事務長と鈴木事務主任の秘書格として東京から金井さんといふ妙令の美人がやつて來て幹部室電話の取次ぎからお茶の餐應、さて事務一切まで美し

りな命生の(丸)は捷敏實確  
屋問物金 鐵銅洋和  
店理代約特社會式株トンメセ城磐

# 店商久屋釜

番九三九電話・町丁五平  
番九三九電話・町丁五平  
しな略商る勝に賣廉品良

い手でやつてのける...  
その情熱と理智のモダン  
な眼の水のやうに澄んで  
室を訪れる人々を快よく  
迎ひて呉れるので若い黨  
員達が用もないのにその  
室をしきりと尋ねる。そ  
れに品行方正の人々ぞろ  
いの新聞記者諸君までそ  
の部屋に一日すはり込ん  
で居る。云ふ有様、そこ  
でまつ反對黨の違反監視  
と同時に此の方も監視員  
が必要だとあつて監視員  
希望者を求めると十分を  
出でず希望者七八名の中  
込み、それ程大勢も必  
要ないので詮衡の結果選  
出された幸運兒が部會顧  
問某翁この人なら大丈夫  
と思ひきや初め一日位は

神妙に監視の役目をつと  
め若い者と見れば半白の  
ひげを、々々ひねりながら  
一々之をならみつけてた  
が此頃は却つてこの老監  
視員が若返る、時折金井  
さんが顔赤らめる程のじ  
ようだんを云ふので近く  
監視不信任が若い人々か  
ら提出されそうなる形勢と  
なつた

出 生  
平町長橋町四十八番地川  
角五郎三男心治  
結 婚  
山形縣米澤市免許町一四  
一五伊藤英山(三〇)平町  
南村四一古川アキ(二五)

# 和歌

詩南社 短歌會 一（〇印は當日の佳作）  
第二回

ふるわしき生業ぞとしいそしむか  
高久 晚霞  
女人力士ら足らひがほなる

幼児のあけに背負ひて子守りうた氣安  
佐々木 顯  
さにして寝入りたるらし

島田 忠雄  
風さむき故里のみ冬に歸り住み紙張を  
吊ると人に告げなむ

宮田 青波  
輕重車の列に阻まれ仕方なしに兵士等  
の顔見つ、立ちけり

只野 閑月  
燈火にたぶさのゆらぐ年男まめ  
をばらまくその威勢よき（節分）

明石 濱男  
〇山里の冬の日ざしをなつかしき  
朽葉の埋むるみちをあゆめり

松村 清  
遠嶺雪はづかに見えてこの朝  
の目におぎろなくはれ極まりぬ（朝明）

佐藤 正美  
満汐の浪はあらたも濁なかの  
いはつ岩むらゆれみだれ見ゆ

武田 曉美  
〇海鳴りのちかき夕ぐれ狭庭へ  
は枯れし紫えんにみぞれふるなり

シ、戸田 材  
たかぶりしその一と時をひとり吾れ  
さしうつむきて黙し居にける

片寄 歌二  
竿竹の割け目が笛をならす日だ  
寒いおろしが一日吹いて

明石 濱雄  
しろぐろと雪消えのこる竹むら  
に來なく小鳥の聲のさぶしき

水野 冷子

落葉ふる冬木の林ゆき  
てはろけき空を見ればかなしも

見ヨ緊縮時代の  
家庭ノ福音!!!

大倉煉炭大好評

平町專賣ノ「印」大倉煉炭使用材料ハ世界一ノ  
稱アル朝鮮電工無煙炭ニ專賣特許ノ大倉貯溜  
炭ヲ配合シタルモノナリ他ノ煉炭ト炊キク  
ベ御使用下サイ火力強ク火持チノ長イコト在  
來品ノ比デアリマセン

尙又化學ノ力デドク瓦斯ヲ除イテアリマスカ  
ラ器物ヲ損ズル恐レガアリマセン然モ大倉乾  
溜炭ハ私ノ店ノ特約デスカラ地方ノ工場デ此  
ノ種ノ品ヲ造ルコトハ絶對ニ出來マセン何卒  
多少ニ不拘御用命下サイ

平町材木町ノ角

大倉 平專賣製造部  
煉炭

高田木炭商店

画映作樂大的期画るすうとを紋波大一に界画映の春新

## 愛地深

第二篇  
全七卷

主演 助之陽羽鳥……子操盤常……藏惠千岡片

日活連續 時代映画  
二月十二日寫真替リ  
舊十四日より十八日まで  
（晝夜二回）公開  
東京日日新聞連載  
監督 清瀬英次郎  
市川小文治  
瀨川路三郎  
川上 彌生  
澤村 春子  
赤羽橋劍平は續く怪僧寅松  
お金榮之丞一角等の飛躍愈々

鳥羽陽之助：俊香新八郎  
鳥原 異聞  
寛永十六年九州武野城下  
の怪事切支丹島原の變を  
中心とせる悲壯なる物語  
松竹キネマズポーツ名画  
鈴木傳明：田中絹代  
輝く空に連なる嶺の雄々  
しき等が若人のぞめば  
絶に血湧きのぼる

# 推薦廣告

立憲政友會公認候補者

## 佐藤庄太郎君

政治生命の最後として敢然悲壯なる決心を以て奮起した同氏を  
茲に推薦し極力この當選を期す

石城郡平町二丁目三九  
推薦者 谷口仁太郎

立憲政友會公認候補者



## 木村清治君

責任者 石城政友會

平町三丁目三  
山田忠太郎

### 祝一週年記念

昭和タクシ― 營業以來茲に一ヶ年を向  
ふるに當り御禮致します  
今日に至る間一回の故障欠點大過無く過したる  
事は是れ皆様の御同情にある者なり深く感謝致  
します  
尚一週年を向ふると共、安全、迅速を主とし  
何卒此後四里以上御引立の程願上ます

昭和タクシ―  
電話三四三  
路

### 第一回關東北卓球大會

期日 二月十六日午前九時ヨリ  
場所 平町元公會堂  
入場無料

主催 平卓球協會  
後援 東北新聞社

▼弊社ニテ優勝旗寄贈